

27年1月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成26年 12月20日～ 27年1月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
1月分の回答企業数50社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 27/1月 | 2月 | 3月 |
|------|-----|--------|--------|-------|
| 仕入動向 | 国産材 | △ 25.0 | △ 11.0 | 1.3 |
| | 外材 | △ 14.6 | △ 9.8 | △ 2.2 |
| 販売動向 | 国産材 | △ 20.2 | △ 12.2 | 1.3 |
| | 外材 | △ 14.6 | △ 6.4 | △ 2.2 |
| 在庫動向 | 国産材 | △ 12.2 | △ 12.5 | △ 6.4 |
| | 外材 | △ 11.5 | △ 8.5 | △ 4.3 |

- ・製材品の仕入は、国産材、外材共に1月、2月は減少し、3月は微増ないし微減。
- ・製材品の販売は、国産材、外材共に1月、2月は減少し、3月は微増ないし横ばい。
- ・製材品の在庫は、国産材、外材共に3ヵ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

| 品目 | 27/1月 | 2月 | 3月 |
|----------------|-------|-------|------|
| スギ正角(グリーン) | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| スギ正角(KD) | △ 1.5 | △ 1.6 | 0.0 |
| ヒノキ正角 | 0.0 | 0.0 | 3.3 |
| ヒノキ土台角 | 0.0 | 0.0 | 3.4 |
| 米ツガ正角(現地挽) | 15.6 | 21.0 | 12.9 |
| 米ツガ防腐土台角 | 19.7 | 15.6 | 8.1 |
| 米ツガ割物(現地挽) | 22.6 | 28.3 | 19.0 |
| 米マツ平角 | 14.7 | 20.3 | 18.3 |
| 北洋アカマツタルキ(現地挽) | 25.0 | 28.6 | 16.7 |
| ホワイトウッド集成管柱 | 25.0 | 27.0 | 19.1 |
| レッドウッド集成平角 | 18.8 | 22.6 | 19.0 |
| 型枠合板(輸入) | 34.4 | 25.0 | 25.0 |
| 針葉樹構造用合板 | △ 1.6 | 6.5 | 7.7 |
| 針葉樹構造用合板(厚物) | 1.7 | 8.6 | 8.0 |

- ・スギ正角(グリーン、KDとも)は保合で推移。

- ・ヒノキは総じて保合で推移。

- ・米ツガ製材品及び米マツ平角は、強保合ないしやや強保合で推移。

- ・北洋アカマツタルキ、WW集成管柱及びRW集成平角は強保合で推移。

- ・型枠合板は強含みないし強保合で推移。

- ・針葉樹合板は総じて保合で推移。

(3) モニターからのコメント

<荷動き動向>

| | |
|-----------------------|--|
| 仕 入 れ 動 向 | <p>東京 (米材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・需要動向ハッキリせず、受注仕入に徹している。・アラスカスプルース丸太の15年間伐採可能な新林区が決まり、今後の安定供給が確実なものとなった。 <p>(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・これ以上は下げないと思うので外材は多めに仕入れる。・入荷量多くない、コスト高の物が多く、販売価格に合わない物が出てきている。先行きの仕事量が不透明で、仕入も流動的になると思う。 <p>(集成材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・引き合い少ないため仕入は控える。ただし、品薄ものはあれば手当とする。 <p>(中国・南洋材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・相変わらず入荷が少ない。・産地天候不順にクリスマス、正月、春節と休みが続くため全体の生産量減少。・全体的に原木不足が続く、入荷は少ない、価格も強含んでおり仕入は厳しい。 <p>(広葉樹等問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・産地の生産低調（ロシア材原料不足のため） <p>(国産材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・丸太の伐り時期の良い製品なので、仕入する。・動き悪く、積極的に仕入できず。 <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none">・アカマツ 45×36 3m物、出荷量に入荷追いつかず、頭悩める。・荷動きはいまいち、輸入材は先高感から早めの手配。・12月後半から動きが悪くなっており、1月の予定も良くなく、仕入は控え目にならざるを得ない。・値上がりするものが増えた。・新築物件対応のため、若干外材は増加の見込み。・エゾタルキを中心に回転が良いためにやや上向き。・1月は一般材の動きが悪く、注文材以外は少ない。・雪で荷物が遅れている。・全般的に低迷。 <p>大阪 (仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none">・国産材を使うお客さんが減っている。 <p>東海 (外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・セール後は通常仕入になる予定。 <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none">・2月、やや物件減少。 |
|-----------------------|--|

| | |
|------------------|---|
| 販 売 動 向 | <p>東京 (米材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年の10月、11月の最悪期から比べるといくらか引き合いは増え、成約も出始めたが、本格的とは到底言えず、当用買いの動きに変化はなし。・米マツ丸太一般材京浜マーケットでは、コスト高の丸太価格に対してどこまで製材販価を上げられるかが、今後の丸太価格の値上げの大きな鍵となる。 <p>(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・3月までは売れ行き不振。・先高感から安いものは売れるが新入荷の高いものは荷動き良くない。末端の仕事が出てこないため今後の荷動きは落ち着いてくると思う。 <p>(集成材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・1月から2月は悪い、4月以降に仕事ができるのでは？ <p>(中国・南洋材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・12月後半より、引合い減少。・円安が続くのでコスト上昇、少しずつだが、転嫁進むも入荷の度にアップするので追いつかない。・年明けの仕事は少なく引合いは少ない。注文材は細かく、納期のない仕事が目立つ。 <p>(広葉樹等問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・市況上向かず。 <p>(国産材問屋)</p> |
|------------------|---|

| | |
|------|---|
| 販売動向 | <ul style="list-style-type: none"> ・1月の出だしは良く、まずまずの動きである。 ・スギ、ヒノキ注文材、造作材の動きは良い。 ・並材関係は多少動くが、役物はだめである。 <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の仕事始めは、暦の関係か5,6日で一齐に現場が動き始め少し忙しい思いする。 ・細かい仕事ばかりで、先が読めず。 ・まとまった物件がなく、厳しい状態が続きそう。2月に期待している。 ・全体に良くない。 <p>大阪</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築物件対応のため、若干外材は増加の見込み。 ・仕入れ同様エゾタルキの販売はやや増加。 ・為替の影響で輸入のラワンベニヤの価格がじわじわと上がってきている。為替が2割アップだから単純に2割上がっても良いが、それほど上がらないのは荷動き鈍く、以前の安い材を多く持っているからか。少々動いてきそうな雰囲気だが、利益を取れる良い動きではなさそう。 ・まだ量的に動きは少ないが、急ぎの注文が多い。 ・休み明け良いスタートが出来た。スギ小割の動きが良い。 ・全般的に低迷。 <p>東海</p> <p>(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セール後の販売は横ばいを予想、北欧材が品薄。 <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷動きは例年の1月に比べて悪くない。 |
| 在庫動向 | <p>東京</p> <p>(米材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原油値下がりを言われても、カナダ産地の唱え値に変化はなく、円安基調に変わりが無いため在庫を増やす考えはない。 ・京浜港では入荷調整により常に適正在庫になっている。 <p>(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春需にそなえ積み増ししている。 ・米加材、ロシア材は1月入荷量も多くなく、先々の仕事の不透明でコストの高い在庫は持てない。 <p>(集材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しばらく現状維持でやっていく。 <p>(中国・南洋材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年前より半減。 ・入荷少なく、在庫にバラツキ、欠品も目立つ。 ・入荷、出荷共に少なく目立った動きはない。 <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算後、外材を中心に持てるだけ持っている。 ・急いで仕入れるものはないが、外材関連は1月より上げると12月に連絡があったので、注意していきたい。 ・新築物件対応のため、若干外材は増加の見込み。 ・在庫は、仕入れた分、出てしまうのでそれほど動きはない。 ・変化が少ない。 <p>東海</p> <p>(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横ばい |

| ＜価格動向＞ | |
|--------------|---|
| スギ正角 | <p>東京(国産材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内地構造材は荷動き不振だが、丸太の値段を考えると下げようがないように思われる。 <p>東京(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保合。 ・動き悪く、見通しつかず。 ・保合。 ・保合。 ・保合。 ・価格に変動なし。 |
| ヒノキ正角 土台角 | <p>東京(国産材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒノキ注文材の値段も安い。 <p>東京(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保合。 ・保合。 ・保合。 ・価格に変動なし。 <p>大阪(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の値上がりから比べれば、元値に戻った。 <p>東海(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒノキは安値横ばい。 <p>東海(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安値安定が予想される。 |
| 米ツガ | <p>東京(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正角は、入荷量少なく、仕入コストも高い物が入荷するため相場は上昇する見込み、米マツの角も値上がりしているため値上げとなる見込み。原料コストが上昇しているため少しずつではあるが、上昇傾向。割物は、入荷量少なく価格は上昇、今後共入荷量少なければマーケットからなくなることもある。内地挽も価格上昇。 <p>東京(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品薄、円安で値上げの条件はそろっているが、動き悪く、実際上げてくるかは分からない。 ・どこへ行っても円安の話。アナウンス通り値上げしたところもある。 ・円安動向で先行き上がってくるのでは。 ・KD材が多少強い。 ・為替の影響で強気配だが、動き少ないため横ばい。 <p>大阪(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防腐土台は、円安分の値上がり飲まざるを得ない。 <p>東海(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円安で1,000～2,000円/m³値上げ。 |
| 米マツ平角 | <p>東京(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集成平角がなかなか上昇しないので、米マツも値上げできない。 ・国内大手メーカーがグリーン材を値上げたため値上がり、KD材はまだ値上げしないため横ばい。しかし、RWの単価次第で今後値上げもある。 <p>東京(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保合 ・保合。 ・品薄、円安で値上げの条件はそろっているが、動き悪く、実際上げてくるかは分からない。 ・横ばい。 <p>大阪(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小角は既に上がっている。平角も時間の問題だろう。 <p>東海(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GEN材、KD正角1,000～3,000円/m³値上げ。 <p>東海(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先高感あり。 |

| | |
|-----------|--|
| 北洋アカマツタルキ | <p>東京(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月入荷少ない見込み。コストも大幅アップとなっており、価格は上昇。2月以後の入荷量によっては価格の変動あると思われる。 <p>東京(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアの状況次第で大きな動きがあるかも。 ・強めながらも相場は保合。 ・良材不足でやや上昇。 ・保合。 ・商社筋は強気であるが、グレードA以外は弱い。 <p>大阪(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月から本格的な値上げ。 <p>東海(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2,000円/m³値上げ。 <p>東海(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しつかず。 |
| WW・RW 集成材 | <p>東京(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集成平角は為替からいけば値上がりだが、実際は実需少なく値上がりしない。 ・原材料アップから国内メーカーは値上げを打ち出している。現地挽も円安でコストアップとなり、価格は上昇傾向にある。 <p>東京(集成材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧州材は値上がりし、納期もかかる。需要あればもう一段上がるが？ <p>東京(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円安で上げ。 ・保合。 ・保合。 ・横ばい。 <p>大阪(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3,000円/m³ ・メーカーが言うように底値から5,000円上げられるか疑問。 <p>東海(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要多い、WWは国内産@1,950円/本、RWは国内産@61,000円/m³ <p>東海(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円安による先高感。 |
| 合板 | <p>東京(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸入は強い、針葉樹はまだ弱い。 ・動き悪く、見通しつかずだが、型枠合板、針葉樹合板は年度末に向けて分からない。 ・ベニヤ類は全体的に強めに動くと思う。 ・ラワンベニヤは、強保合、ラーチは品薄感あり。 ・輸入物の合板は少々上げ。針葉樹合板は保合。 ・コンパネは順次値が上がっており、今日も上げている。 <p>大阪(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・針葉樹合板、今は変動ないが2月に入れば上昇するかも。 ・ラワン材は値上げ傾向あり、その他は横ばい。 ・円安の影響か少しずつ値上がりしている、品薄状態が依然続いている。 <p>東海(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・針葉樹構造用合板@850円/枚、針葉樹構造用合板(厚物)@2,080円/枚。 ・針葉樹合板は少し値戻ししたが、これ以上は上がらない感じ。 <p>東海(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・針葉樹は安値安定予想。ラワンは円安の影響続く。 |